

武井たか子の 市議会報告

無所属・市民派



No. 52
2015
冬号

〒791-8025 松山市衣山2-4-47早瀬ビル2F tel. fax 924-2485 発行……武井多佳子(松山市議会議員)
武井たか子を支える会(生き活き政治ネット) http://www.takei-takako.jp/ e-mail ikiiki@cnc.e-catv.ne.jp 発行日……2015年2月1日

t a k e i s c i t y c o u n c i l r e p o r t

2015年、阪神大震災から20年となりました。あの長く揺れた朝のこと、今も忘れられません。慌ててテレビをつけ、時間が経つにつれ、炎と煙が広がる光景は目に焼き付いています。約1年後、私は小学生だった娘の手を引いて、神戸YWCAの訪問活動に参加させていただきました。一人暮らしのお年寄りがとても喜んでくださったことを思い出します。この夏19年ぶりに神戸を訪れました。ブルーシートの屋根がたくさん残っていた光景は一変し、きれいな街並みに戻っていました。このように街の復興が進む中、人々の暮らしはどのように変わったのだろうか。改めて思いをはせたいと思いつつ、1月17日を迎えました。そうして、自然災害の前に人の力は弱いこと、だから謙虚に向き合っていかなければならないことを自分に言い聞かせました。

一般質問

12月議会、わずか3分の質問時間

私は年4回の議会です。松山市議会の議員一人当たりの年間質問時間は60分、一議会15分でどれほど執行機関(市の行政)のチェックができるのでしょうか。12月議会にはその少ない質問時間が底を突き、わずか3分しか残っていませんでした。しかし、貴重な3分を無駄にしたいと2つの質問を行いました。

議会改革へ向けた執行機関の姿勢を問う

松山市議会は、現在策定している議会基本条例の中で、「市民に信頼される議会」の実現を目指すことを宣言しようとしています。また、議員自らの努力と議会の責任において、予算執行を含む市政運営への監視及び評価機能の充実を強化することを掲げようとしています。そのためには本会議や委員会で活発な議論がなされなければなりません。これこそ議会の本分です。さて、その推進

にあたって懸念されることがあります。それは、行政つまり市の職員が議員の質問を作成することがあるという問題です。この悪しき慣習を温存させて議会改革も監視及び評価機能の充実・強化もあり得ません。市民の信頼を得ることもできません。議会基本条例は絵に描いた餅になってしまいます。そこで、敢えて質問しました。

- 【質問】2014年6月、9月、12月議会で行政が書いた質問があったのかどうか、また、それは行政自らが提供したのか、議員の依頼によって提供したのか？
- 【答弁】議員から事務事業に関する問い合わせがある際、必要に応じて参考資料や情報提供を行う場合はあるが、執行機関が質問を作成することはない。
- 【質問】行政が議員の質問を作成することへの野志市長の見解はどうか？また、行政が議員の質問を作成しないことを徹底させるべきと考えるが、議会改革にむけた執行機関の姿勢はどうか？
- 【答弁】議会と執行機関は車の両輪として、互いの機能と役割を尊重しつつ、市民福祉の増進という共通の目的のために、切磋琢磨する姿勢が求められると考える。

コメント▶本会議場で「これは理事者が書いた質問やな」という議員の会話が飛び交う。12年間を通じた私の経験です。しかし、誰々の質問は行政が書きましたなど、当然答えるはずはありません。そのことはわかって敢えて、行政主導の議会に待った！という一石を投じるために、質問しました。「そんな事実はないぞ」という議員の野次がもっと飛ぶことを覚悟しましたが、見事期待はずれ、逆にそれが残念でした。

特定ホテル建築規制条例(案)、実効性はあるのか？!

松山市には、現在、建築基準法上、都市計画法上の禁止区域に4つのラブホテルと3つの類似ラブホテルがあります。これは1993年の建築基準法改正以降、また、国交省の通知で判断基準が示された2005年以降も規制してこなかったからです。私はこの問題を2年前から指摘してきました。やっと、このたび「特定ホテ

ル建築規制条例案」が示され、パブリックコメントで意見募集されました。これに先立って2014年6月、効力のある条例とするために先行都市の条例を比較して、具体的に盛り込んでほしい内容について提案しました。条例案には不十分な面もあり、本会議で質問しました。※条例案への意見は、1月13日に別途提出しました。

- 【質問】この条例内容であれば、今すでに建築されているようなホテルは今後建築されることはないと考えているのか？
- 【答弁】構造や設備を規制する条例であり、新築、増築、大規模改修など新たな建築行為を行う場合も規制対象としているので、今後建築されることはないと考えている。
- 【質問】旅館業法条例の見直しも必要と考えるが、今後どのようなスケジュールで行うのか？
- 【答弁】旅館業法条例は、「旅館業の適正な運営により公衆衛生の向上を図ること」を目的として施設の衛生確保などについて基準を定めていることから、現時点で条例を見直す考えはない。

2014年11月28日：2015年度予算にむけて政策・予算要望を行う ※梶原議員とともに
1.原発放射能政策、2.貧困対策、3.公共交通の充実、4.環境対策、5.少子高齢、人口減少社会に向けたまちづくり、6.子育て・教育の充実の6項目について
エネルギーの地域内自給に向けて「自然エネルギー基本条例」を制定する。子どもの貧困対策法に基づき、実態調査を行い、実態に合った計画を策定すること。ごみのさらなる減

量化に向け、生ごみのコンポスト工場の創設と、その工場から出るバイオガスの発電利用への取り組みで再資源化の促進をはかる。など23の要望を提案しました。

12月24日：就学援助制度の充実を求める要望を行う ※共産党小崎議員、杉村議員とともに
1.子どもの貧困対策に関する大綱に関する松山市教育委員会としての見解を求める、2.制度の具体的な運用を改善することについて、3.

制度の充実を図ることについての3項目で12の要望を行いました。この要請は昨年から引き続き行い、説明をわかりやすくしたり、関係各課に配置するなど、一定の改善が図られました。毎年要望を積み重ねていきます。

12月26日：「中等・高等教育の無償化をめざし、奨学金制度の充実を求める意見書」を提案し、全会一致で採択される ※各会派のみなさんと調整しました

3月議会の日程 2月20日～3月18日 一般質問は3月3日・4日 せひ、傍聴にいらしてください。

「政治力フェ」のご案内
とき…3月7日(土)午後7時30分
ところ…生き活き政治ネット事務所
ねこ☆にゃらーず 永井さんを招いて「地域猫」お話し

いよいよ、マイナンバー制度導入への動きがスタート

今回システム改修費として、既存システム運用事務447万円、住民基本台帳事務事業2,510万円が予算計上されました。この制度は、国民に番号をつけ、税と社会保障の情報を一元化するもので、2015年10月、ひとり一人にナンバーがつけられる予定です。

私は2つの理由から反対しました。第一は、全体事業費もランニングコストも提示できていないということです。国庫補助事業であっても事業費も見通せずにスタートするなど、厳しい財政状況の中、ありえないと思います。第二は、セキュリティ対策や個人情報保護への対応が不十分だということです。「番号漏えいや不正使用のおそれがある場合を除き、マイナンバー

は一生変更されません」と説明しています。漏えいや不正使用があればナンバーを変えるという対応は示されていますが、そうなる前の対策が重要なのであり、この点で松山市から職員研修以外の納得のいく説明はありません。また、マイポータル制度も設立しておらず、自分の情報がどのように使われるのか確認もできません。さらに、対象事務は42事務あり、申請時の事務手続きが簡素化されるとのことですが、リスクとメリットを比較すると、リスクの方が大きいと思えます。市民への周知も徹底していない段階での拙速な制度導入は、より危険性が高まると考えます。

東雲小学校改築・教育センター新築主体その他工事請負契約の締結について、疑問は残るが苦渋の選択

これは9月議会最終日ぎりぎり提案されたため、十分な審査ができず反対せざるを得なかった案件です。当初の予定価格17億2,417万円が4回目の入札では19億2,134万7,000円、4か月で1億9,717万7,000円も上がるという積算のあり方に対する疑問、そうして、特定業者による**99.34%の高い落札率**と

いう結果への疑問は払しょくできませんが、子どもたちへの大きな影響を考えるとこれ以上工期が延びることは難しいと判断し、苦渋の選択で賛成いたしました。今後、入札不調が繰り返される案件については、県内、県外にも業者の対象を広げるなど、透明性を確保するための改善策を求めました。

活動報告

伊方原発、現地を視察

11月28日、私は市議会総務理財委員会のメンバーとして計画を立て、13名の議員の参加を得て、四国電力伊方原子力発電所内を見学しました。3号機内を案内されましたが、足元は悪く、頭上注意など、障害物の多さに驚きました。働いている人は慣れているとはいえ大変なことでしょう。南海トラフ巨大地震の際、全く影響がないとはとても考えられません。狭い敷地内は安全対策のもと工事ラ

ッシュです。いったい事故が起きたらどうなるのだろう。しかし、福島第一原発事故は特別のことだったと安全を強調する四国電力の説明に「安全神話」は崩れていないことを実感しました。

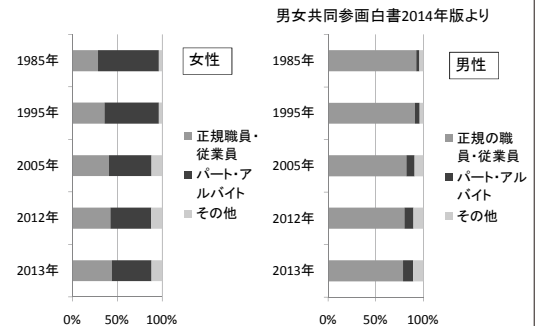
10月23日「南海トラフ巨大地震最新情報と伊方原発」のテーマで高知大学岡村眞先生、11月4日「原子力施設の安全性について～原子力発電所の安全～」のテーマで大阪大学山口彰先生にお話を伺いました。これらの学びを経て、松山市議会として、伊方原発再稼働に反対する意見書を関係省庁に提出してほしいという請願について、議論を深めていきたいと思えます。



フィフティネット・バックアップスクール in 関西2014に参加

フィフティネットではこれまでバックアップスクールを開き、関西圏で女性議員を送り出してきました。私も学ばせていただいた一人です。今回、私は「女性と貧困をめぐって～自治体はどう取り組むか～」を担当しました。実態を数字に表し、自治体間の施策を比較した情報を提供し、参加者のみなさんと意見交換しました。確かに意思決定の場に女性が増えることも大事、しかし、女性の貧困の現実に向き合い、取り組まなければ、真の解決にはならない、そのことを痛感しています。さて、女性の貧困には家事や子育てへの負担の大きさ、家事や子育てを担わない男性を中心とした働き方、女性が非正規労働者の多くを占めているこ

雇用形態別に見た雇用者の構成割合



と、税や年金などの社会保障制度の問題など、さまざまな要因が重なり合っています。それが、ひとり親家庭（多くはシングルマザー）の貧困率54.6%（2012年）という結果を招いたのです。しかし、女性の置かれている立場は細分化され、共通の課題として手をつなげないことが解決を遅らせています。ここで改めて「女性の貧困」というテーマで話せたことを一歩前進と捉え、共有の輪を広げていきたいと思いました。



イラスト 藤井玲子

「市議会報告」は、年4回発行しています。ご紹介いただいた方々全員に年2回郵送させていただきます。バックナンバーはホームページに掲載しています。ぜひ、お読みください。